

平成 30 年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

| | |
|---------------|---|
| 事業名 | 安全・安心な地域づくりに関する事業 |
| 事業主体 (連絡先) | フリースペース十色 (といろ) (0263-33-7257) |
| 事業区分 | (2) 保健、医療、福祉の充実に関する事業 (3) 教育、文化の振興に関する事業 |
| 事業タイプ | ソフト |
| 総事業費 | 751,849 円 (うち支援金 : 598,000 円) |

事業内容

- 1 大人の見守りの中で、工作、ボードゲーム、外遊び、山城散策、井戸巡り、料理、読書、学習などを実施し、何気ない日々の営みを通して信頼関係を構築し、居心地の良い居場所となるよう取組んだ。
- 2 他愛のない話をしながら、一人ひとりの自己肯定感を高める取組を行った。
- 3 状況に応じて子ども、保護者へのカウンセリングを行った。
- 4 必要に応じて、長野障害者職業センター、チャレンジ松本、ハローワーク、塩尻わかものサポートステーション、ウイッシュ (松本県域障害者総合支援センター)、医療機関等への同行支援を実施した。



【フリースペース十色開所式】

【目標・ねらい】

- ①切れ目のないサポート
- ②孤立 (孤独) の防止
- ③家族支援

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- 1 一緒に何かを作ったり食事をしたり、ボードゲームや勉強をしたり、他愛のないおしゃりをするなど、人との繋がりが感じられるようになり、孤立感 (= 孤独感) が薄れていき、ひいては引きこもりの予防に繋がっていると思う。
- 2 一人で抱えずに相談することで安心感を獲得し、自身の未来について落ち着いて考え、見通しが持てる子どもが見受けられた。他機関との連携も出来た
- 3 困ったときは相談するという、生きていく上でとても大切な力を引き出す関わりができた。
- 4 利用者同士が互いを尊重し、十色を居心地の良い居場所に作り上げてくれている。他者と協調し大切に出来ている。
- 5 他機関等と連携をして、改めて本人を中心とした支援の大切さを実感した。
- 6 利用者数 (実数) 179 人、(延数) 447 人
相談件数 (実数) 42 件 (5/25~12/10 現在)

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- ・「十人十色」個性溢れるステキな方々が皆、お互いがお互いを尊重し、まさに「多様性を認め合う存在」として「十色」を作り上げ過ぎていらっやいます。この雰囲気大切にしていきたいことが事業効果に結びつくのではないかと思います。
- ・ご本人にとって最良であるように、引き続き他機関等との連携を大切にしていきたいと思ひます。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

- 「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた
- 「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

※自己評価 【A】

【理由】

- ① 臨機応変、ご本人のニーズに応じて他機関等と連携し丁寧に対応が出来た。
- ② 利用者さんから「くつろげる」「楽」「何でも話せる」「話しやすい」「無理せず居られる」「老若男女関係なく色々な人が集まるいこいの場」「落ち着く」「かいてき」等の感想を頂いている。
- ③ 利用者さんたち自身が自発的に十色を居心地の良い居場所にしようと取り組んでいる。

